



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年1月31日

上場会社名 株式会社ベルーナ 上場取引所 東
 コード番号 9997 URL <http://www.belluna.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 安野 清
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 松田 智博 (TEL) 048-771-7753
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	109,639	8.6	7,711	20.5	9,423	32.6	6,321	37.7
28年3月期第3四半期	100,928	8.9	6,401	24.0	7,108	△18.5	4,590	△14.9

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 6,444百万円(73.4%) 28年3月期第3四半期 3,716百万円(△36.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	65.01	—
28年3月期第3四半期	47.21	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	179,491	86,044	47.6
28年3月期	161,055	80,646	49.8

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 85,400百万円 28年3月期 80,177百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	6.25	—	6.25	12.50
29年3月期	—	6.25	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	6.25	12.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	140,000	6.3	11,000	31.5	11,000	54.8	7,000	97.5	71.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記情報)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期3Q	113,184,548株	28年3月期	113,184,548株
29年3月期3Q	15,947,964株	28年3月期	15,947,724株
29年3月期3Q	97,236,757株	28年3月期3Q	97,237,259株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、穏やかな回復基調で推移しましたが、海外経済の不確実性を背景に景気の先行きは不透明な状況となっております。また、個人消費についても雇用・所得環境が改善しているものの弱含みで推移しております。

このような環境下におきまして、当社グループは引き続きポートフォリオ経営の強化に取り組んで参りました。その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は109,639百万円（前年同期比8.6%増）となりました。営業利益は総合通販事業や看護師向け通販事業での増益などにより7,711百万円（同20.5%増）となったことに加えて、営業外で為替相場の変動による収益を929百万円計上したため、経常利益は9,423百万円（同32.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は6,321百万円（同37.7%増）となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

〔総合通販事業〕

ネット販売が好調で、売上高は57,646百万円（同6.3%増）となりました。また、セグメント利益は原価率や物流費率の改善などにより3,621百万円（同32.6%増）となりました。

〔専門通販事業〕

看護師向け通販事業が好調だったことに加えて、丸長㈱の売上が寄与したこともあり、売上高は30,917百万円（同11.9%増）となりました。また、セグメント利益も1,891百万円（同86.4%増）となりました。

〔店舗販売事業〕

新規出店などもあり、アパレル店舗事業に加えて、和装店舗事業も売上を伸ばしたことで、売上高は9,634百万円（同24.9%増）となりましたが、セグメント損失は新規に株式取得した㈱マイムの季節要因などにより382百万円（前年同期はセグメント利益132百万円）となりました。

〔ソリューション事業〕

封入・同送サービス事業に加え、通販代行サービス事業も順調に売上を伸ばし、売上高は4,008百万円（同21.1%増）、セグメント利益は1,840百万円（同31.3%増）となりました。

〔ファイナンス事業〕

国内消費者金融事業の貸付金残高を伸ばしたことにより、売上高は2,297百万円（同8.4%増）、セグメント利益は921百万円（同23.8%増）となりました。

〔プロパティ事業〕

前年同期にあった不動産販売が当期は無かったことなどから、売上高は2,789百万円（同25.6%減）、セグメント利益は153百万円（同71.7%減）となりました。

〔その他の事業〕

卸売事業などで売上を伸ばし、売上高は2,853百万円（同9.1%増）、セグメント損失は89百万円（前年同期はセグメント損失23百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末比14,124百万円増加し、88,313百万円となりました。これは主に受取手形及び売掛金が2,771百万円、営業貸付金が1,381百万円、商品及び製品が2,195百万円、販売用不動産が2,555百万円、仕掛販売用不動産が3,002百万円増加したことによるものであります。固定資産は、前連結会計年度末比4,311百万円増加し、91,178百万円となりました。これは主に建物及び構築物が2,349百万円、建設仮勘定が2,339百万円増加したことによるものであります。この結果、資産合計は、前連結会計年度末比18,436百万円増加し、179,491百万円となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末比16,237百万円増加し、53,665百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が6,023百万円、短期借入金が6,831百万円、未払法人税等が1,082百万円、未払費用が1,556百万円増加したことによるものであります。固定負債は、前連結会計年度末比3,198百万円減少し、39,782百万円となりました。これは主に長期借入金が2,719百万円減少したことによるものであります。この結果、負債合計は、前連結会計年度末比13,038百万円増加し、93,447百万円となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末比5,397百万円増加し、86,044百万円となりました。この結果、自己資本比率は47.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の通期の業績予想につきましては、平成28年5月11日の公表から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間より、新たに設立したLABB CAPITAL LLC及び株式を取得した㈱マイムを連結の範囲に含めております。

第2四半期連結会計期間より、株式を取得した㈱ミン、(有)ジュラン、㈱R i nを連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,478	18,179
受取手形及び売掛金	9,279	12,051
営業貸付金	18,082	19,463
有価証券	346	1,248
商品及び製品	15,610	17,806
原材料及び貯蔵品	1,220	983
販売用不動産	999	3,555
仕掛販売用不動産	3,173	6,175
繰延税金資産	684	620
その他	6,417	9,295
貸倒引当金	△1,104	△1,066
流動資産合計	74,189	88,313
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	21,341	23,690
機械装置及び運搬具(純額)	902	876
工具、器具及び備品(純額)	378	391
土地	35,400	35,523
リース資産(純額)	366	397
建設仮勘定	1,069	3,409
有形固定資産合計	59,459	64,289
無形固定資産		
のれん	3,231	3,387
リース資産	1,612	1,285
その他	3,498	3,589
無形固定資産合計	8,342	8,261
投資その他の資産		
投資有価証券	14,561	14,048
長期貸付金	1,580	1,548
破産更生債権等	239	217
繰延税金資産	1,007	801
その他	1,952	2,213
貸倒引当金	△276	△202
投資その他の資産合計	19,065	18,626
固定資産合計	86,866	91,178
資産合計	161,055	179,491

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,633	21,656
短期借入金	8,109	14,940
未払費用	7,880	9,437
リース債務	680	635
未払法人税等	951	2,033
賞与引当金	569	339
返品調整引当金	67	85
ポイント引当金	599	469
その他	2,936	4,065
流動負債合計	37,428	53,665
固定負債		
長期借入金	38,359	35,639
利息返還損失引当金	1,048	915
リース債務	1,316	1,072
退職給付に係る負債	65	33
役員退職慰労引当金	252	260
資産除去債務	505	512
その他	1,433	1,347
固定負債合計	42,981	39,782
負債合計	80,409	93,447
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,607	10,607
資本剰余金	11,003	11,003
利益剰余金	68,449	73,555
自己株式	△9,677	△9,677
株主資本合計	80,382	85,488
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	584	1,149
為替換算調整勘定	△811	△1,254
退職給付に係る調整累計額	22	17
その他の包括利益累計額合計	△204	△87
非支配株主持分	468	643
純資産合計	80,646	86,044
負債純資産合計	161,055	179,491

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	100,928	109,639
売上原価	45,542	48,572
売上総利益	55,386	61,067
返品調整引当金繰延差額	17	18
差引売上総利益	55,368	61,048
販売費及び一般管理費	48,967	53,336
営業利益	6,401	7,711
営業外収益		
受取利息	236	271
受取配当金	288	281
為替差益	33	264
デリバティブ評価益	87	664
その他	637	602
営業外収益合計	1,283	2,085
営業外費用		
支払利息	97	90
減価償却費	131	91
支払手数料	203	29
その他	144	162
営業外費用合計	576	373
経常利益	7,108	9,423
特別利益		
投資有価証券売却益	107	-
特別利益合計	107	-
特別損失		
固定資産除却損	1	12
減損損失	-	78
投資有価証券売却損	-	22
投資有価証券評価損	72	109
特別損失合計	74	223
税金等調整前四半期純利益	7,141	9,200
法人税、住民税及び事業税	2,256	2,821
法人税等調整額	332	68
法人税等合計	2,588	2,890
四半期純利益	4,553	6,310
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△37	△11
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,590	6,321

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	4,553	6,310
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△513	565
為替換算調整勘定	△311	△426
退職給付に係る調整額	△11	△5
その他の包括利益合計	△836	134
四半期包括利益	3,716	6,444
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,762	6,439
非支配株主に係る四半期包括利益	△46	5

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	総合通販 事業	専門通販 事業	店舗販売 事業	ソリ ュー ション 事業	ファイナンス 事業	プロパティ 事業	その他の 事業	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高									
外部顧客への売上高	54,096	27,624	7,712	3,048	2,120	3,736	2,589	—	100,928
セグメント間の内部 売上高又は振替高	131	12	—	261	—	13	25	△444	—
計	54,227	27,637	7,712	3,309	2,120	3,750	2,615	△444	100,928
セグメント利益 (又はセグメント損失△)	2,731	1,014	132	1,402	744	541	△23	△143	6,401

(注) 1. セグメント利益(又はセグメント損失△)の調整額は、セグメント間の連結消去仕訳192百万円とのれん償却費△335百万円であります。

2. セグメント利益(又はセグメント損失△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	総合通販 事業	専門通販 事業	店舗販売 事業	ソリ ュー ション 事業	ファイナンス 事業	プロパティ 事業	その他の 事業	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高									
外部顧客への売上高	57,467	30,831	9,634	3,822	2,297	2,771	2,814	—	109,639
セグメント間の内部 売上高又は振替高	179	85	—	186	—	17	39	△507	—
計	57,646	30,917	9,634	4,008	2,297	2,789	2,853	△507	109,639
セグメント利益 (又はセグメント損失△)	3,621	1,891	△382	1,840	921	153	△89	△244	7,711

(注) 1. セグメント利益(又はセグメント損失△)の調整額は、セグメント間の連結消去仕訳142百万円とのれん償却費△387百万円であります。

2. セグメント利益(又はセグメント損失△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。